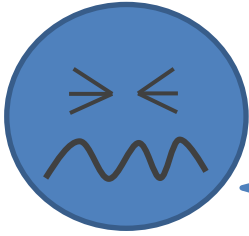


児童の願い

視写が苦痛だ。得意な方法で学習したい。



〈本人の困り感、思い〉

- ・板書をノートに視写することが苦痛である。
- ・自分の意見を言ったり、文章に表したり、漢字を書いたりすることが苦手である。

☆本人との対話、本人の思い

- ・ノートに書く量はなるべく少なくしたい。
- ・できれば動画を見て学習したい。
- ・自分の意見が思い浮かばない。

☆手立て・合理的配慮

- ・できるだけ板書を減らし、体を使う活動を多くする。
- ・地図など視覚に訴える教材を多く使うことで、集中力を維持する。
- ・文章を考えるときには、言いたいポイントをいくつかに絞り、そこを深く掘り下げる。漢字が苦手なので、タブレットの文字入力や音声入力で作文を書く。



並べて見て地形と気候、災害の関連に気づく

支援を受けてみて

- ・書く量が少ないと、プレッシャーを感じずに、自分のペースでできた。(本人)
- ・大きな日本地図にスーパーのチラシを切り貼りした産地調べは、たいへん良い学びになった。(保護者)